

令和5年10月25日（水）

## 白血病を乗り越えて

白血病から復帰した池江璃花子選手が、2021年4月4日、東京オリンピック代表選考会でもある日本選手権の女子100mバタフライで優勝しました。400mメドレーリレーの選考基準をもクリアし、リレーメンバーとしても東京オリンピック代表に内定し、さらに8日には100m自由形も制し、400mリレーの内定も獲得しました。白血病を乗り越えた池江選手がオリンピック代表になれるとは誰も予想できないことでした。

池江選手は2019年の2月12日に白血病であることを公表しました。池江さんは2019年の夏に骨髄移植を行っています。移植では激しい副作用があり、食欲はなくなり、筋肉も落ち、どんどんやせ細っていきます。抗がん剤治療では、髪の毛が抜け落ちていきます。強い吐き気にも悩まされて、食欲もなく、栄養を点滴で摂取するのが精一杯という日もあったようです。2年も経っていない状況では、競技に復帰すること自体が難しいのです。ましてや、オリンピック代表を勝ち取るタイムを出すなど、白血病の公表から780日ほどでの優勝はまさに奇跡です。

オリンピック内定直後のインタビューで、池江選手は「努力は必ず報われる」と言っていました。しかし、実際は退院直後からもう一度プールに戻ることを目標に、気が遠くなるようなトレーニングの日々を送るなど、「努力」だけでは言い表せない程頑張っていました。

当初の目標は2024年のパリオリンピック出場でした。しかし、新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックが1年延期になり「奇跡」につながりました。筋力や体力は徐々に回復し、昨年8月には東京都大会に出場します。その後、10月の日本学生選手権に出場し50m自由形で入賞しました。今年2月の競泳ジャパン・オープンで同種目2位になるなど、東京オリンピック出場の期待が高まる中で冒頭の日本選手権を迎え、偉業をなし遂げました。

今年9月29日に行われた杭州アジア大会では、競泳女子50mバタフライで銅メダルを獲得しています。池江選手は「できる」と信じ、諦めませんでした。喜入中の皆さんも、自らの可能性を信じて取り組んでみませんか。